

Together with Thailand, We Learn.

2026/12/
11^{Fri}-15^{Tue}

タイ北部環境保全プロジェクト体験ツアー



北部タイでは、森林の違法伐採や無秩序な焼畑による農地転換が原因で土壌の劣化が進み、土砂崩れや洪水などの自然災害を引き起こす原因になっています。また山火事と焼畑による煙害は大気汚染のみならず、地域住民の健康被害にまで及んでいます。これに対しオイスカでは、タイ北部チェンライ県にて住民自らが主体となって森を守るグループ作りや環境教育を推進してきました。

本ツアーは、オイスカ開発プロジェクトの現場を訪れ、森林の劣化が及ぼした大きな影響と本プロジェクトの取組みで再生した環境や地域産業などを肌で感じ取り、森林や環境保全の重要性を再認識・再発見することを目的としています。

費用： 現地キャンプ場利用 47,000円 助成学生 47,000円 現地ホテル利用参加（シニア向） 97,000円

募集人数： 12名

応募締切： 10月31日

集合： チェンマイ市内指定ホテル

解散： チェンマイ空港

※学生会員の助成枠は2名で先着順 ※7～15名の催行枠で実施
※募集は先着順で受付登録・内定、定員枠になり次第締切ります

詳細や
お申し込みは
こちらから！



【お問い合わせ】

公益財団法人オイスカ北海道支部
住所：北海道札幌市豊平区平岸1-1-8
電話：011-867-9684
FAX：011-867-9685
E-mail：oisca-h@lake.ocn.ne.jp

※参加費は、参加者数12名での現地滞在経費の算定です。参加人数により参加費（共通費用の負担割合）が増減することを予めご了承ください。人数確定後に参加費を決定し、請求書をメール送信します。参加費請求後の参加取消は、キャンセル料（取消不可の個別経費や共通経費の按分負担分）のご負担を予めご了承ください。
※ホテル利用参加費は1人部屋を基本としています。但し、12/12 ホテル泊のみ2人相部屋の利用手配となります。
※現地キャンプ場利用参加は、12/11はホテル（一人部屋）利用、12/12はキャンプ場近隣のホテル（2人相部屋）利用、12/13～14（2泊）キャンプ場の個別テント2人利用の手配となります。

実施目的

オイスカタイ開発プロジェクトの現場を訪れ、森林の劣化が及ぼした大きな影響と本プロジェクトの取組みで再生した環境や地域産業などを肌で感じ取り、森林や環境保全の重要性を再認識・再発見することを通じて、オイスカ活動の取組みを含め、環境保全の在り方、国際理解と国際協力の在り方を深め、タイ国との国際交流・親善を深めることを目的とします。

実施事項

- ・タイ北部の環境保全プロジェクト（オイスカの森づくりの広がり、竹細工や養蜂、山菜などの生計向上活動がいざいざと息づく村）およびゴム農園の見聞
- ・「子供の森」計画参加校の訪問／児童との交流
- ・チェンライの自然の魅力や地元アカ族の文化、環境保全に関する想いに触れる山歩き
- ・上記を通じた地元の方々との国際交流

実施形態

- ・参加する個人や法人の職員等が、実施期間（集合・解散）にあわせながら、出国から帰国迄の国際線・日本国内線の航空券および海外旅行保険を手配する旅行（個人手配）形態で実施します。
- ・現地チェンライの滞在（交通・宿泊・食事・施設入場等）手配はオイスカタイ総局が実施します。但し、12/11 チェンマイの宿泊のみ、オイスカ北海道支部が直接手配とします。
- ・本ツアーの集合前または解散後にタイの追加滞在や隣国の滞在は自由です。
- ・参加申込みは、タイ北部環境保全プロジェクト体験ツアー参加の募集・実施要項の承諾と専用の参加申込書の提出が必要です。表面の二次元コードから案内サイトを開き、必要書類をダウンロード願います。

ツアー行程表

	交通手段等	スケジュール概要
Day 1 (12月11日)	国際線	チェンマイ市内の指定ホテル集合（各自で手配した便でチェンマイ入り） チェンマイ国際空港から指定ホテル迄は、各自でタクシーやバスで移動 受付後、フリー時間  なし/各自手配 ＜チェンマイ市内 ホテル泊＞
Day 2 (12月12日)	専用車	午前：チェンマイからチェンライへバス移動、アタ・キャンプ場到着 午後：オイスカタイと台流、オリエンテーション、夕食歓迎会  朝昼夕 ＜キャンプ場の近隣ホテル泊＞
Day 3 (12月13日)	専用車	午前：「チェンライの自然の魅力や地元アカ族の文化、 環境保全に関する想いに触れる」山歩き 夕方：メースアイ郡へ移動  朝昼夕 ＜キャンプ場または近隣ホテル泊＞
Day 4 (12月14日)	専用車	午前：「子供の森」計画参加校の訪問 午後：オイスカの森づくりの広がり、竹細工や養蜂、山菜などの生計向上 活動がいざいざと息づくパボン村の見学、ゴム農園の視察  朝昼夕 ＜キャンプ場または近隣ホテル泊＞
Day 5 (12月15日)	専用車 国際線	午前：チェンライ ホワイト・templ等の見学 午後：チェンライからチェンマイ国際空港へバス移動 チェンマイ国際空港にて解散  朝昼

タイにおけるオイスカの活動

1975年にタイ東北部での農業技術指導から始まったオイスカの活動は、「まずは環境の回復が先決」という考えのもと、植林を開始しました。現在は南部でのマングローブ植林や、北部での「ふるさとづくり」など、地域に根ざしたプロジェクトを統合的に展開しています。今回の研修地である北部チェンライ県では、違法伐採や焼畑の影響で森林減少が進み、土砂崩れや大気汚染が深刻な問題となっています。これに対しオイスカは、「子供の森」計画(☆)と連動し、住民自らが主体となって森を守るグループ作りや環境教育を推進してきました。さらに、森を守ることが生活の向上に繋がるよう、養蜂や山菜栽培といった「森の恵み」を生かした収入向上の取り組みも行ってきました。環境保全が安定した生計を支える、持続可能な生活スタイルの定着を目指しています。

☆「子供の森」計画：子どもたち自身が学校や地域で苗木を植え、育てていく活動を通して、「自然を愛する心」や「緑を大切にする気持ち」を養いながら緑化を進めていくプログラム